

# 令和7年度 中高生俳句バトルinあらかわ 各リーグ対戦結果

令和8年3月22日(日)

## Aリーグ

	開成A	水沢	開成中	海城
開成A		○ 2-1	○ 2-1	○ 2-1
水沢	× 1-2		○ 2-1	× 0-3
開成中	× 1-2	× 1-2		× 1-2
海城	× 1-2	○ 3-0	○ 2-1	

## Bリーグ

	名古屋	横浜翠嵐	開成B	学習院女子
名古屋		○ 2-1	× 1-2	○ 3-0
横浜翠嵐	× 1-2		○ 2-1	× 1-2
開成B	○ 2-1	× 1-2		○ 2-1
学習院女子	× 0-3	○ 2-1	× 1-2	

# 令和7年度 中高生俳句バトルinあらかわ 各リーグ対戦結果

令和8年3月22日(日)

## 決勝戦

Aリーグ勝者 開成高等学校A	2 — 3	Bリーグ勝者 開成高等学校B
-------------------	-------	-------------------

令和七年度中高生俳句バトルinあらかわ

Aリーグ第一試合兼題「千」

白 岩手県立水沢高等学校

大将	中堅	先鋒
春の雷ライブドームの闇千切れ	三葉千切る母の初恋の話	ちり紙は縦に千切れて花粉症
高一	高一	高二
千田瑚夏	宮澤凜	遠藤佳花

大将	中堅	先鋒	赤
使ふまで包丁冷た百千鳥	千本の薔の立つ雨上がり	てつぺんに桜聳ゆる千枚田	開成高等学校 A
高二	高二	高一	
田中仁	太田惺	原島奏	

令和七年度中高生俳句バトルinあらかわ

Aリーグ第二試合兼題「千」

白 海城高等学校

先鋒	千日の経ち卒業となりにけり	高二	土谷海理
中堅	えくぼには千の故あり春日傘	中三	入江亮輔
大将	千人の友だち春の夜の電波	高二	下谷陽太

赤	開成中学校		
先鋒	蝌蚪たちは千の煩惱かもしれず	中一	福間和光
中堅	コテージに小さき椅子や百千鳥	中一	谷口博規
大将	きざはしの千段ありて山笑ふ	中二	守屋時男

令和七年度中高生俳句バトルinあらかわ

Aリーグ第三試合兼題「住」

白 開成中学校

先鋒	住職の頭越えるよ石鱈玉	中二	折田煌
中堅	春休み何か足りぬ仮住まひ	中一	福間和光
大将	逃水を踏むか入るか住んでみるか	中二	守屋時男

赤	開成高等学校 A		
先鋒	野遊や雲に住みたいから転ぶ	高一	森本健太
中堅	雛まつり人間昏き箱に住み	高二	田中仁
大将	ヒヤシンス鏡のなかに住みたくて	高一	原島奏

令和七年度中高生俳句バトルinあらかわ

Aリーグ第四試合兼題「住」

白 海城高等学校

大将	中堅	先鋒
煩悶青年春の都に住みにけり	入学子つひに住所をおぼえけり	衣食住すべて揃って春の風
高二	高二	中三
下谷陽太	土谷海理	入江亮輔

大将	中堅	先鋒	赤
主のない熊の住処や春は来ず	表札の変わった住居春の風	春光や姉の新住所間違えた	岩手県立水沢高等学校
高一	高一	高一	
中村美蘭	千田瑚夏	高野昊	

令和七年度中高生俳句バトルinあらかわ

Aリーグ第五試合兼題「大」

白 開成高等学校 A

大将	中堅	先鋒
啓蟄や大木に地を割る力	大学に寝袋持つてゆく臍	大空の冷たさを持つレタスかな
高二	高二	高一
谷口和洋	太田惺	原島奏

大将	中堅	先鋒	赤
遠足なら大学芋も入れてあげる	大袈裟に笑つてあげる花見かな	大縄の持ち手長くて水温む	海城高等学校
高二	高一	高二	
小平健輔	富樫健太	大山圭一朗	

令和七年度中高生俳句バトルinあらかわ

Aリーグ第六試合兼題「大」

白 開成中学校

大将	中堅	先鋒
リラの花大きな犬を抱いてゐる	囀や大仏の耳豊かなる	逃水をつかむ大きな手でつかむ
中一	中一	中二
福間和光	谷口博規	守屋時男

大将	中堅	先鋒	赤
大口で頬張るおやつつばき餅	春風や大筆走らす紙の上	新平の大風呂敷や芝桜	岩手県立水沢高等学校
高一	高一	高二	
中村美蘭	千田瑚夏	遠藤佳花	

令和七年度中高生俳句バトルinあらかわ

Bリーグ第一試合兼題「千」

白 横浜翠嵐高等学校

大将	中堅	先鋒
春日さす千年前の人骨に	春風に千秋楽の大幟	千の雲に千のかたちや初桜
高二	高一	高二
那住悠太	大井秀朗	池田光希

赤 名古屋高等学校

大将	中堅	先鋒
囀やぬうつと千切れゆくチーズ	幾千の雨脚見ゆる靖国祭	千代紙に花のよりあふ暮春かな
高二	高一	高一
関谷諒太	富田輝	三輪修平

令和七年度中高生俳句バトルinあらかわ

Bリーグ第二試合兼題「住」

白 開成高等学校B

大将	中堅	先鋒
草餅が要るよ旅にも住まひにも	朧夜の住友ビルのたくましき	四代の住まふ家なり雛祭
高一	高一	高二
有澤大輝	田中煌人	高橋優作

大将	中堅	先鋒	赤
新しき住所がゾロ目風光る	春風や住まひに猫の通る道	春の闇へと住職の一礼す	横浜翠嵐高等学校
高二	高一	高二	
池田光希	福村紗矢	那住悠太	

令和七年度中高生俳句バトルinあらかわ

Bリーグ第三試合兼題「大」

白 開成高等学校B

大将	中堅	先鋒
早春は大胸筋の辺りより	大まかにミモザが雨の中にある	大学に画材の匂ひ夕永し
中三	高二	高一
谷平寛治	松沼春杜	有澤大輝

大将	中堅	先鋒	赤
ばけがくのすゑの大田螺と思ふ	座布団に大きな汚れ春の風邪	大根の花わんさかと陽が集ふ	名古屋高等学校
高二	高一	高一	
東野礼豊	近藤理仁	三輪修平	

令和七年度中高生俳句バトルinあらかわ

Bリーグ第四試合兼題「住」

白 名古屋高等学校

大将	中堅	先鋒
しらうをなべてたましひの仮住まひ	安住のはじまる糸瓜蒔いてより	囀や画集にそつと字の住めり
高二	高二	高一
東野礼豊	関谷諒太	細田連太郎

大将	中堅	先鋒	赤
沈丁花ここには魔女が住んでゐる	桜まじ四畳半にも住み慣れて	霾りて火星に住所移したし	学習院女子高等科
高二	高二	高二	
中村心遥	加藤優陽	田口茉優	

令和七年度中高生俳句バトルinあらかわ

Bリーグ第五試合兼題「大」

白 学習院女子高等科

大将	中堅	先鋒
猫の恋大漁旗のある町の	春が来たきみ大袈裟に笑ふから	大の字に寝てお花見の真つ只中
高二	高二	高二
本間まどか	東風谷莉世	島崎結菜

大将	中堅	先鋒	赤
春風吸つても大人にはなれるよ	大泣きのひとりに皆の寄る春野	なんとなく息を大きく新年度	横浜翠嵐高等学校
高二	高二	高一	
友安睦	池田光希	大井秀朗	

令和七年度中高生俳句バトルinあらかわ

Bリーグ第六試合兼題「千」

白 学習院女子高等科

大将	中堅	先鋒
戒名の長き卒塔婆や百千鳥	卒業に針千本の契りかな	春光や一羽手伝ふ千羽鶴
高二	高二	高二
東風谷莉世	島崎結菜	加藤優陽

大将	中堅	先鋒	赤
千本の柱の見ゆる海市かな	空港に千の窓あり冴返る	千本の土筆がライブめいてゐる	開成高等学校B
高二	高二	高一	
高橋優作	松沼春杜	有澤大輝	

令和七年度中高生俳句バトルinあらかわ

決勝戦兼題「橋」

白 開成高等学校B

大将	副将	中堅	次鋒	先鋒
丸木橋おどけてわたる春休	橋の下より見えてくる桜かな	まんさくやサーカスが橋から来たよ	戯れに橋くぐりたる石鹼玉	橋跳ねて船たくましき夏隣
中三	高二	高一	高二	高一
谷平寛治	高橋優作	有澤大輝	松沼春杜	田中煌人

大将	副将	中堅	次鋒	先鋒	赤
海市への橋なのかもう海市なのか	橋あれば旅の始まる桜かな	朧夜のサラリーマンのための橋	石鹼玉橋を越えたいし越えられず	橋脚に水面の縋れて花の昼	開成高等学校A
高一	高二	高一	高二	高二	
原島奏	谷口和洋	森本健太	田中仁	太田惺	

令和七年度中高生俳句バトルinあらかわ

試合で使用しなかった句兼題「橋」

海城高等学校

先鋒	この橋を渡ればお江戸蘆の角	高一	鎌田知尚
次鋒	花溢る橋の右にも左にも	中三	浅田麟太郎
中堅	棧橋は春の宵へと伸びにけり	高二	下谷陽太
副将	棚橋の家中にある子猫かな	高二	小平健輔
大将	霾の橋に平たく降りにけり	高二	大山圭一朗

名古屋高等学校

先鋒	石橋に石くつきりと風光る	高一	近藤理仁
次鋒	舟橋の舟それぞれに春の揺れ	高二	関谷諒太
中堅	鞆揺るできそこなひの橋として	高二	東野礼豊
副将	料亭のみじかき橋や躑躅燃ゆ	高一	井上蒼太
大将	終はりなき橋を燕は渡りをり	高一	富田輝

令和七年度中高生俳句バトルinあらかわ

試合で使用しなかった句兼題「橋」

横浜翠嵐高等学校

先鋒	肘置けば橋ひんやりと梅を見る	高一	福村紗矢
次鋒	岬から岬へ橋や花曇	高二	那住悠太
中堅	橋を渡れば蝶々の国のある	高二	池田光希
副将	橋の下ぬるりと油風通る	高一	大井秀朗
大将	春コート四五歩に橋を渡りけり	高二	友安睦

学習院女子高等科

先鋒	石橋の手すりの低しちやるめる草	高二	中村心遥
次鋒	鉄橋の赤の掠れてゐる日永	高二	加藤優陽
中堅	眼鏡橋の石ぎゆつとある春浅し	高二	島崎結菜
副将	白酒の鞆に重く日本橋	高二	田口茉優
大将	歩道橋の友に手を振り春の風	高二	東風谷莉世

令和七年度中高生俳句バトルinあらかわ

試合で使用しなかった句兼題「橋」

岩手県立水沢高等学校

先鋒	橋台の残りし川や春の星	高一	宮澤凜
次鋒	石橋に投げ出す足や花筏	高二	遠藤佳花
中堅	落橋や花屑とともに川の中	高一	中村美蘭
副将	うららかや橋の端までけんけんぱ	高一	高野昊
大将	花の雲見入り佇む橋の上	高一	千田瑚夏

開成中学校

先鋒	藤の昼吊橋疲れ切つてゐる	中一	福間和光
次鋒	剛の虻ゐたり五条の橋の下	中二	守屋時男
中堅	公園に小さき橋や猫の恋	中一	谷口博規
副将	石橋の上で食べたし桜餅	中二	折田煌
大将	吊り橋の改修工事みどりの日	中三	周承玓